

平成 30 年度 第 1 回糖尿病療養指導研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 医療事業部

日 時 平成 30 年 6 月 17 日 (日) 9:00~16:20

会 場 名 済生会熊本病院 外来がん治療センター 4 階 大ホール

テーマ【高齢者と糖尿病】

◇午前の部

講演 1 『高齢者糖尿病診療の実際と病態に応じた栄養療法』

熊本大学大学院 生命科学部研究部代謝内科学 講師 近藤 龍也 先生

熊本大学の近藤先生から「高齢者糖尿病治療ガイド 2018」に沿って、高齢者糖尿病の特徴、総合機能評価、治療方針、食事・運動・薬物療法、合併症などについてひとつひとつ、わかりやすい説明がありました。また、食事、運動療法の重要性を示す新しい研究結果のお話も興味深く、さっそく栄養指導に活かせるような内容でした。



講演 2 『高齢糖尿病患者の食事指導について』

済生会熊本病院 管理栄養士 田中 郁代 先生



済生会熊本病院 管理栄養士の田中先生より、実際、高齢者糖尿病の栄養指導にどのように取り組まれているかということについてご発表いただきました。高齢糖尿病外来患者の現状についてのデータや実際に使用されている資料等も示され、個人差が大きい高齢者に対し、ひとりひとりに応じた栄養指導に取り組まれているご苦労がわかる内容でした。

講演 3 『サルコペニア、ロコモティブシンドロームをもつ

糖尿病患者に対するリハ栄養とリハビリについて』

水俣市立総合医療センター 理学療法士 前川 直也 先生

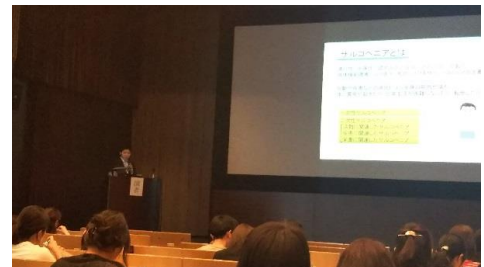
理学療法士の前川先生よりリハ栄養とリハビリのお話しでした。フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの詳しい説明に加え、実際の症例をいくつも示していただき、普段取り組まれているリハビリの内容やそのすすめ方について具体的に知ることができました。

◇午後の部

講演4 『多疾患罹患状態の糖尿病の管理』

いくつもの病気を持っていることの多い高齢者の糖尿病患者を診る場合にどんな点に注意したらよいかについて、医学的、身体機能、心理状態、社会的存在位置などを考慮し、医療チームでのアプローチが重要というお話でした。時折、先生のご趣味の川柳を交えての楽しい講演でした。

熊本第一病院 院長 野上 哲史 先生



講演5 『当院の栄養指導の取り組み』

熊本総合病院 管理栄養士 白坂 亜子 先生

外来・入院の個人栄養指導、糖尿病透析予防指導、糖尿病教室、患者会活動、職員・患者食堂でのBCMの取り組みなど幅広く活躍されている様子がわかりました。またその取り組みについて、自分たちできちんと評価し、まとめておられるところもさすがだなと感じました。

今回の研修会は、医師の先生だけでなく、理学療法士や管理栄養士などさまざまな立場やそのご経験から多くのことを学べる内容で貴重な研修会でした。研修の参加者も、看護師、検査技師など多職種から138名もの参加があり、長時間の研修会ではありましたが、盛会のうちに終わりました。

野上先生、近藤先生をはじめ5名の先生方、どうもありがとうございました。

